

# 東南村山 おいしい米づくり情報

第8号 出穂期 編

発行：令和6年7月25日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部  
村山総合支庁農業技術普及課  
(TEL：023-621-8295)

**早生品種では出穂が始まっています！今後も気温が高い予報！  
適切な水管理で品質低下を防止しましょう！**

## 今後の天候

- ・7月25日発表の1か月予報（7月27日～8月26日）では、平年に比べ**気温は高く、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並み**の見込みです。
- ・また、7月23日発表の3か月予報（8月～10月）では、平年に比べ**気温は高く、降水量は平年並み**の見込みです。
- ・高品質・良食味米の生産のため、**高温や気象の変化に十分注意しながら、きめ細やかな栽培管理を行いましょう。**

## 今後の水管理

- ・**出穂は平年並み～やや早い**と見込まれますが、今後の高温では、出穂が早まる可能性もあります。
- ・**出穂までは、間断かん水（2日湛水、2日落水）**を基本とします。土壌を酸化的に保ち、根に水分と酸素を供給しながら根の活力維持に努めましょう。
- ・**出穂～開花期は湛水状態（水深 2～5cm）**で管理しましょう。出穂前後は稲が最も水を必要とする時期です（**花水**）。
- ・**穂揃期以降は、間断かん水や飽水管理**を行いましょう。水の溜めっぱなしは厳禁！

## 斑点米カメムシ類・いもち病の防除を徹底！

- ・7/25に斑点米カメムシ類の**注意報が発表**されており、発生量は**多く推移**しています。
- ・**基本防除は穂揃期とその7～10日後**です。**地域ぐるみで一斉に防除**を行い、防除効果を高めましょう。
- ・出穂期前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促します。やむを得ず草刈りをする場合は、**薬剤散布直前に実施**して下さい。**お盆の草刈りはやめましょう！**
- ・いもち病に感染しやすい気象条件の日が多くなっています。圃場を見回り、葉いもちが確認された圃場では、**治療効果のある薬剤で防除**しましょう。
- ・穂いもちの防除は「**穂孕後期**」と「**穂揃期**」の2回を基本に行いましょう。

**熱中症と農作業事故に注意！** こまめな休憩と水分補給。ゆとりを持った作業を行いましょう！